

科目名	基礎演技Ⅲ						年度	2026	
英語科目名	Basic Acting Ⅲ						学期	前期	
学科・学年	声優・演劇科 1年次	必/選	必	時間数	105	単位数	3	種別※	実習+実技
担当教員	磯辺万沙子、渡井れい		教員の実務経験	有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】 俳優としての技術能力の向上を目指す。そして、基本を大切に授業を行う。演劇は共同作業であることから、作品を作り上げて行く過程で生ずる様々な問題を、お互いの立場を尊重しながら解決していく方法を学ぶ。演劇を学ぶことを通して、個人的にも集団的にも、尚且つ肉体的、精神的に成長したことを実感できる授業を目指す。									
【科目の概要】 個々の資質を伸ばしながら、呼吸法・発声法・発音訓練、それに伴う身体訓練などを含む演技の基礎を学ぶ。									
【到達目標】 学生は発声法・滑舌はもとより、表現の内容が他者（観客）に正確に伝えられる技術の基礎を身につける。俳優としてチームの中で、リーダーシップを取り、作品作りへの新鮮なアイディアを開いた思考の中から想像力を広げ、提案できる実力をつける。そして、肉体と心そして言葉が繋がり、リアリティーのある言葉と説得力ある台詞を伝えることができる俳優となることを目標とする。									
【授業の注意点】 学生、教員がお互いを尊敬しあい、和やかに、かつ礼儀正しく行われることを基本とする。理由なき欠席・遅刻は認めない。携帯電話、スマートフォンの電源は切る、私語は慎む等、社会の常識的な行動は常に意識すること。課題には積極的に取り組むこと。社会性がない者は役者としても大きな欠陥があることを理解すること。成果も大切だが、取り組む姿勢を最も大事にしなければならない。また、授業時数4分の3以上出席が必須。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	腹式呼吸が完璧にできており、長い台詞・短い台詞を正しい発声法とプレスポイントを駆使することができる。	概ね腹式呼吸ができているが、息の量が少なくなつた時に咽頭への力みが生じる発声をしている。	腹式呼吸を理論的に理解しているが、訓練不足により結果が出ていない。	腹式呼吸を理論的に理解できず、訓練方法の意図も理解できていない。	腹式呼吸やその訓練の重要性を理解せず、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 B	初見の課題において、母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を的確に区別し、台詞として表現することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を自力で区別することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができるが、自力で区別することができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができず、区別していうことができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解しようとして、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 C	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品について語るができる。	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品のテーマを理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解しようとする意欲は見える。	戯曲を読解しようとする意欲がない。				
到達目標 D	自分の役割を理解し、自己都合を一切感じさせず他者の感情に訴えかける表現を行うことができる。	自分の役を理解し、他者の感情を考慮しながら“役としての”コミュニケーションを図ることができる	自分の役を理解し、他者の感情を考慮し用いているが“役としての”コミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解できず、他者と目を合わせてコミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解しようとして、他者とコミュニケーションを図ろうとしない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】 必要に応じて随時、課題のテキスト及び台本配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】 ハムレット、夏の夜の夢、銀河鉄道の夜、NHK日本語発音アクセント辞典									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		基礎演技Ⅲ			年度	2026
英語表記		Basic Acting Ⅲ			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ストレッチ等、基本の必要性を理解する。	舞台演劇に関する認識を高める	1 ストレッチ	全身の脱力		
			2 発声	力まず身体を共鳴させる		
			3 歌唱	演技同様に表現する		
2	呼吸等、基本の必要性を理解する。	身体のアップ 基礎トレーニング 日常に近づける	1 課題台本①	ハムレット（シェイクスピア）		
			2 フレージング	句読点の読解		
			3 起承転結	物語の構成を理解する		
3	発声等、基本の必要性を理解する。		1 課題台本①	ハムレット（シェイクスピア）		
			2 フレージング	句読点の読解		
			3 起承転結	物語の構成を理解する		
4	母音法等、日本語の仕組みを理解する。		1 課題台本①	ハムレット（シェイクスピア）		
			2 フレージング	句読点の読解		
			3 起承転結	物語の構成を理解する		
5	台詞の持つエネルギーを感じてみる。		1 立ち稽古	パーソナルスペースを理解する		
			2 交流稽古	相手の呼吸に合わせる		
			3 通し稽古	役を生きる		
6	選び抜かれた言葉、日本語の美しさを理解する。		1 課題台本②	銀河鉄道の夜（宮沢賢治）		
			2 フレージング	句読点の読解		
			3 起承転結	物語の構成を理解する		
7	台詞を発するため、今、自分に何が必要かを理解する。	1 課題台本②	銀河鉄道の夜（宮沢賢治）			
		2 フレージング	句読点の読解			
		3 起承転結	物語の構成を理解する			
8	言葉のエネルギーを利用し、役のなかで自分を解放することを理解する。	1 課題台本②	銀河鉄道の夜（宮沢賢治）			
		2 フレージング	句読点の読解			
		3 起承転結	物語の構成を理解する			
9	人を惹きつけ、観客を意識した表現を理解する。	1 立ち稽古	パーソナルスペースを理解する			
		2 交流稽古	相手の呼吸に合わせる			
		3 通し稽古	役を生きる			
10	情景描写表現に必要な想像力について学ぶ。	1 課題台本③	夏の夜の夢（シェイクスピア）			
		2 フレージング	句読点の読解			
		3 起承転結	物語の構成を理解する			
11	短編台本を用いコミュニケーションの楽しさ、難しさを理解する。	1 課題台本③	夏の夜の夢（シェイクスピア）			
		2 フレージング	句読点の読解			
		3 起承転結	物語の構成を理解する			
12	短編台本を用い相手がいるときの台詞の必要事項を理解する。	1 課題台本③	夏の夜の夢（シェイクスピア）			
		2 フレージング	句読点の読解			
		3 起承転結	物語の構成を理解する			
13	短編台本を用い動きの中で、なぜこの言葉が生まれたのか、言葉の必然と動きの必然を考える。	1 課題台本③	夏の夜の夢（シェイクスピア）			
		2 フレージング	句読点の読解			
		3 起承転結	物語の構成を理解する			
14	短編台本を用い言葉や感情の裏側を理解し、必然と偶然を盛り込んで演技の奥行きを広げる。	授業内発表本番	1 立ち稽古	パーソナルスペースを理解する		
			2 交流稽古	相手の呼吸に合わせる		
			3 通し稽古	役を生きる		
15	短編台本を用い感情表現を工夫しながら発表することができる。	授業内発表反省会	1 映像	自分の演技を客観視する		
			2 他者	他人との違いを研究する		
			3 まとめ	自分に足りないものは何かを追求する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等